

中国法定感染症発病概況 2019 年 3 月

The Japan Research Institute (Shanghai) Solution Co., Ltd.
リサーチ・コンサルティング部門

■発病総数は例年より非常に多い

当月発病総数は 879,800 件であり、前月比+23.0%。過去平均（過去 3 年の同月および前後月の 9 カ月平均）比では+63.2%で、過去平均標準偏差（SD）+5.4 であり、総数としては例年より非常に多い（図表 1）。

■乙類が例年と同程度、丙類は例年より非常に多い

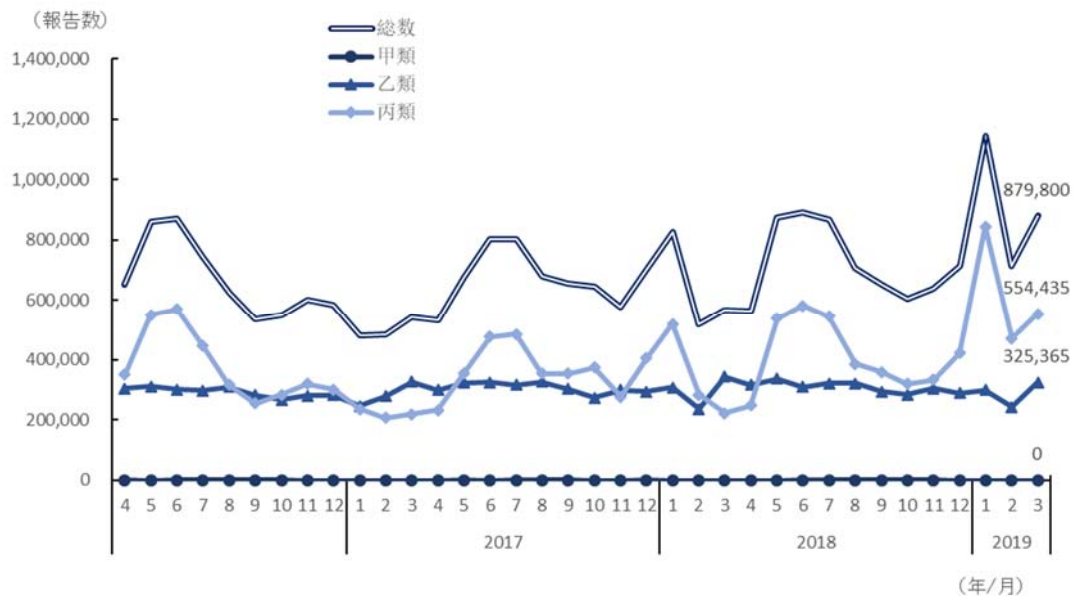
類型（甲乙丙）別*では、甲類は 0 件。

乙類は 325,365 件（前月比+33.8%）、過去平均比+9.4%、過去平均 SD+0.8 と例年と同程度。

丙類は 554,435 件（前月比+17.4%）、過去平均比+129.5%、過去平均 SD+6.5 と例年より非常に多い（図表 1）。

*）中国では、病気のうち 39 の感染症を甲類で 2 つ（ペスト、コレラ）、乙類 26、丙類 11 に分類。2013 年 11 月 1 日に、乙類であった新型インフルエンザ:A(H1N1)pdm09 を丙類のインフルエンザに集約し、乙類に鳥インフルエンザ A(H7N9) を追加。2016 年 1 月からは、ウイルス性肝炎の内訳に D 型肝炎を追加。（本資料のウイルス性肝炎は、A 型、B 型、C 型、D 型、E 型、その他肝炎を合算）

図表 1 発病数

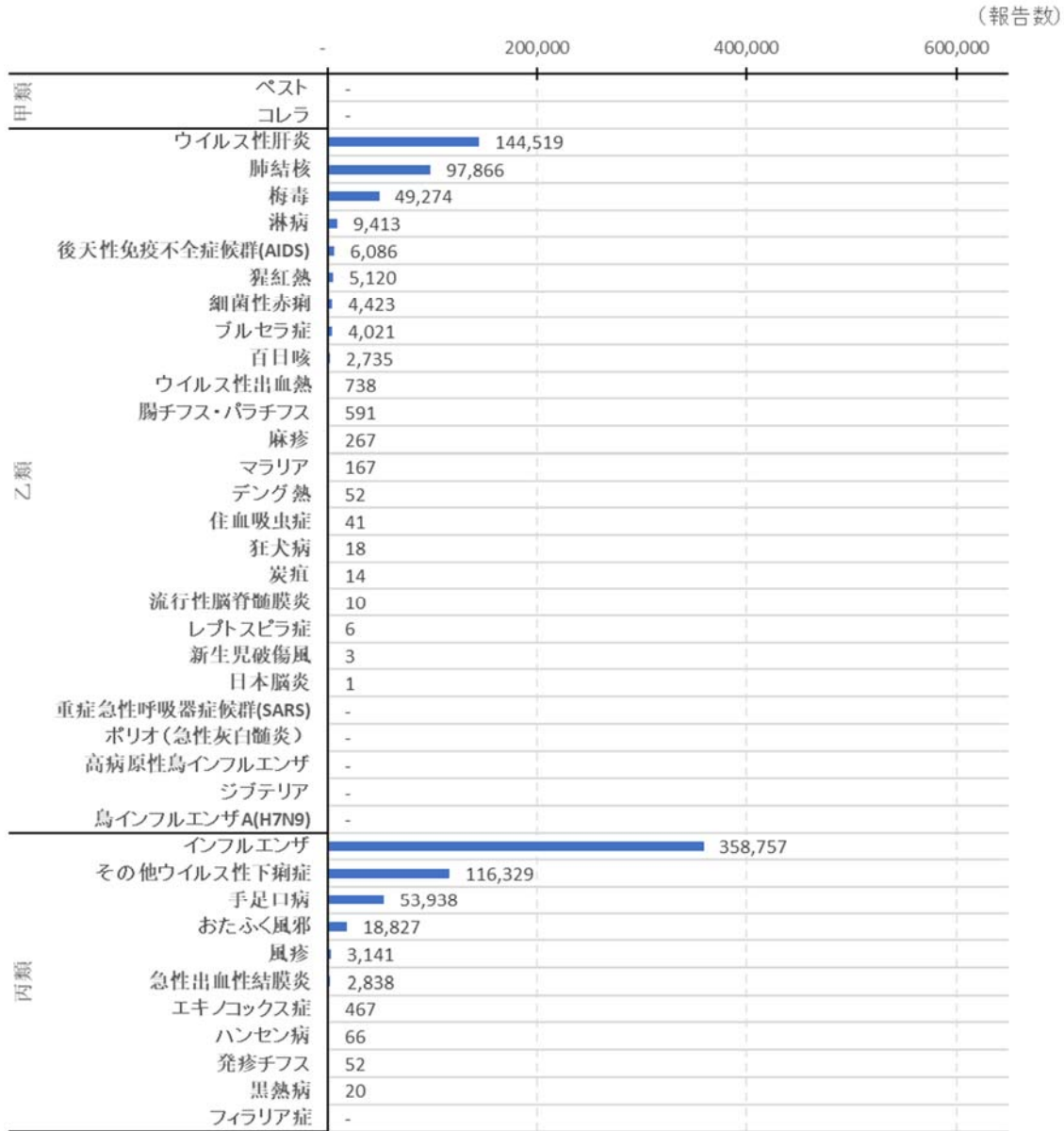


（資料）中華人民共和国国家衛生健康委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成

■ 当月最も多く発生したのは「インフルエンザ」(発生数は例年より非常に多い)

感染症別では、インフルエンザが358,757件であり、前月比+16.5%。また、過去平均比(過去3年の同月および前後月の9カ月平均)では+580.0%、過去平均SD+8.4であり、発生数は非常に多い(図表2、図表3)。

図表2 感染症別：発病数(当月)
〈類型別降順〉

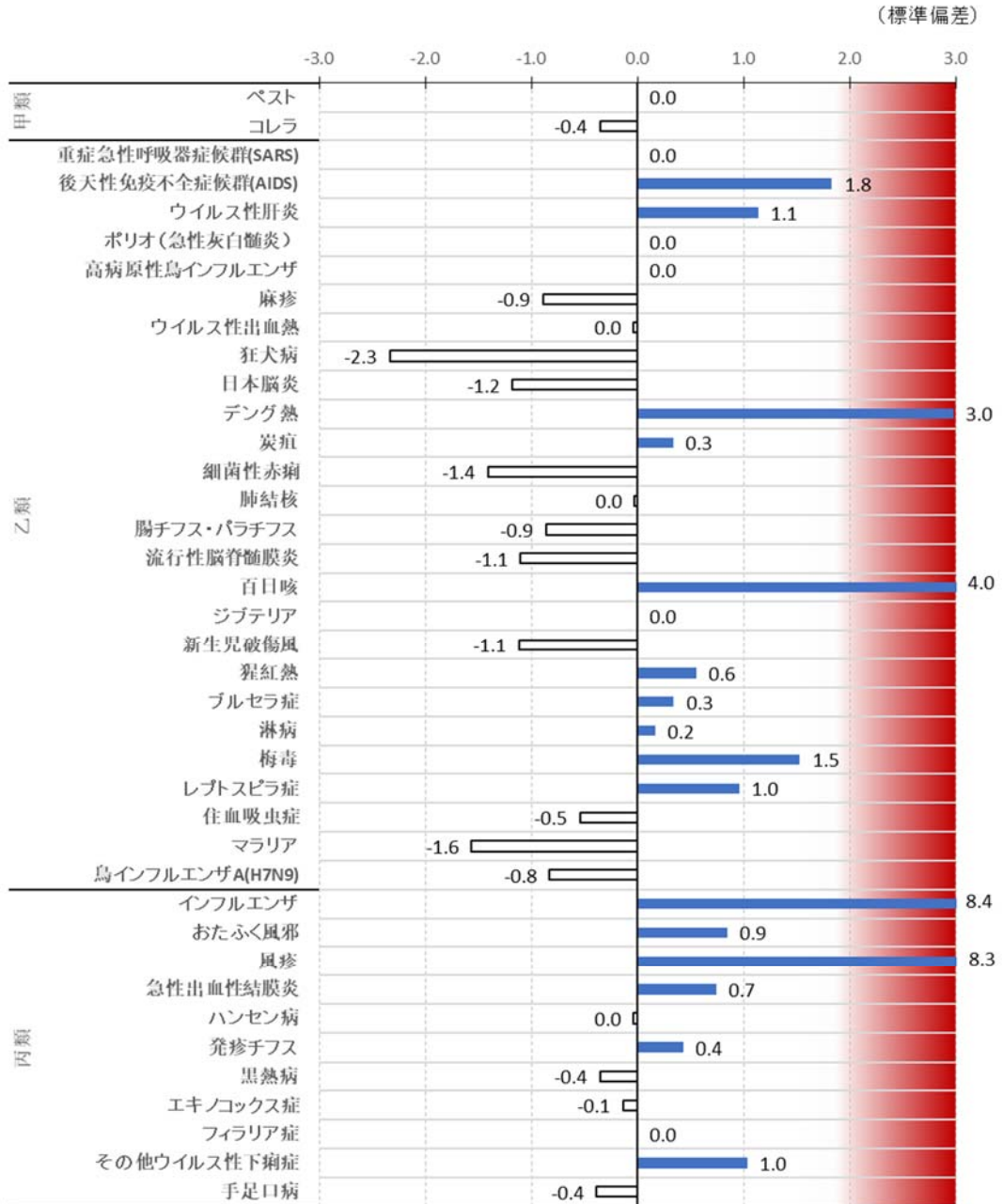


(資料) 中華人民共和国国家衛生健康委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成

■ 4つの感染症が例年に比べ非常に多く発生

例年に比べ非常に多く発生（過去平均SDが+2.0以上）した感染症は、インフルエンザ、風疹、百日咳、デング熱の4つ（図表3）。

図表3 感染症別：過去平均SD（当月）
〈統計記載順〉

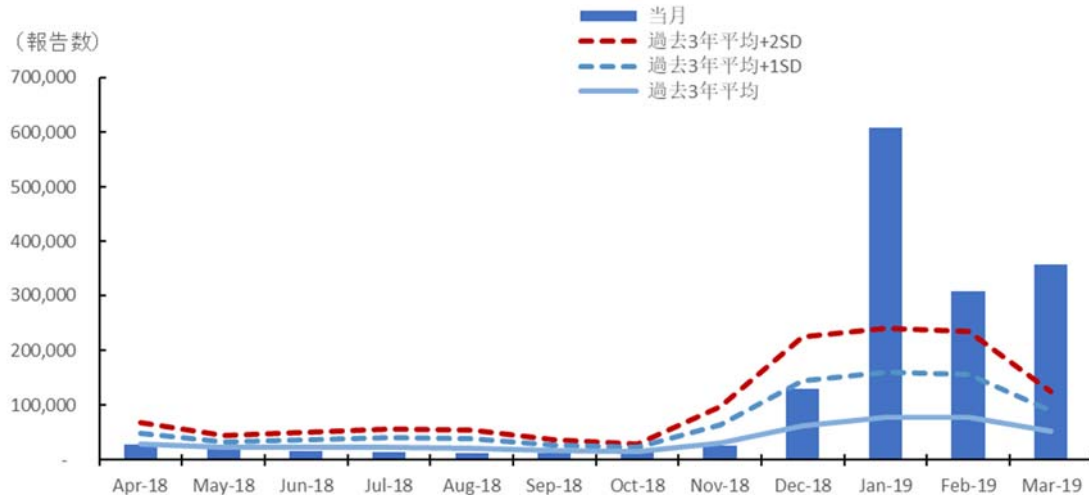


(資料) 中華人民共和国国家衛生健康委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成
(注1) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均 (注2) SD:標準偏差

■インフルエンザは3カ月連続で例年より非常に多く発生

インフルエンザは358,757件(前月比+16.5%)で、過去平均比+580.0%、過去平均SD+8.4であり、3カ月連続で例年より非常に多く発生(図表4)。

図表4 発病数(インフルエンザ)

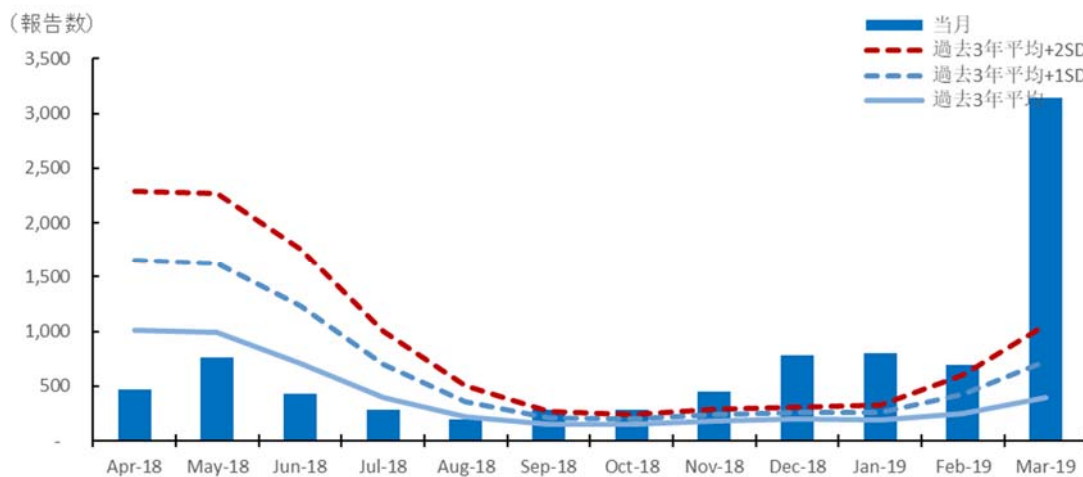


(資料) 中華人民共和国国家衛生健康委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成
(注1) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均 (注2) SD:標準偏差

■風疹は7カ月連続で例年より非常に多く発生

風疹は3,141件(前月比+349.4%)で、過去平均比+686.6%、過去平均SD+8.3であり、7カ月連続で例年より非常に多く発生(図表5)。

図表5 発病数(風疹)



(資料) 中華人民共和国国家衛生健康委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成
(注1) 過去平均は過去3年の同月および前後月の9ヵ月平均 (注2) SD:標準偏差

参考：発病統計表(2019年3月)

病名	発病数	病名	発病数
甲乙丙類総計	879,800		
甲乙類合計	325,365	丙類合計	554,435
ペスト	-	インフルエンザ	358,757
コレラ	-	おたふく風邪	18,827
重症急性呼吸器症候群(SARS)	-	風疹	3,141
後天性免疫不全症候群(AIDS)	6,086	急性出血性結膜炎	2,838
ウイルス性肝炎	144,519	ハンセン病	66
A型肝炎	1,938	発疹チフス	52
B型肝炎	113,941	黒熱病	20
C型肝炎	24,053	エキノкокクス症	467
D型肝炎	44	フィラリア症	-
E型肝炎	3,204	その他ウイルス性下痢症	116,329
未分類型肝炎	1,339	手足口病	53,938
ポリオ(急性灰白髄炎)	-		
高病原性鳥インフルエンザ	-		
麻疹	267		
ウイルス性出血熱	738		
狂犬病	18		
日本脳炎	1		
デング熱	52		
炭疽	14		
細菌性赤痢	4,423		
肺結核	97,866		
腸チフス・パラチフス	591		
流行性脳脊髄膜炎	10		
百日咳	2,735		
ジブテリア	-		
新生児破傷風	3		
猩紅熱	5,120		
ブルセラ症	4,021		
淋病	9,413		
梅毒	49,274		
レプトスピラ症	6		
住血吸虫症	41		
マラリア	167		
鳥インフルエンザA(H7N9)	-		

(資料) 中華人民共和国国家衛生健康委員会「全国法定伝染病疫情概況」を基に日本総研作成

本内容照会先：リサーチ・コンサルティング部門(川崎真規、陳静宜) Tel: +86-21-6841-1288

本資料は情報提供を目的に作成されたものであり、取引の誘引を意図したものではありません。また、2019年4月24日時点で弊社が一般に信頼出来ると思われる資料に基づいて作成されたものであるが、内容に誤りがないことを保証するものではなく、情報の正確性・完全性・網羅性・商用性については、一切の保証をするものではない。

中国法定感染症発病概況 2019年3月

Copyright (C) 2019 The Japan Research Institute (Shanghai) Solution Co., Ltd. All Rights Reserved.